

46 2/057

実 用 新 集 登 録 顧 (強調が深法第8条第1項の規定による実用新編登録出顧)

昭和5/年8月20日

特許庁長官 殷

1. 考案の名称

天体写真自動攝影發展

1 原特許出願の表示

特質的46ー2/057号

3 考 集 者

千葉県船橋市丸山町 9 / 番地の / 4 小 山 泰三郎 (経か3名)

4 與用新樂登舞出顧人

ま代 選 人

ム 配付 沓類 の 目像

(2) 朝李嗣本(2) 明細書

/ 通

(4) 数 任 状

変更を要しないためな聴する。

51 119571

11:

/ 考案の名称 天体写真自動機影装置

2 実用新案登録請求の範囲

増部に取付金具/4によつて写真機Cを装備した 管状標準/内の小望遠鏡の鏡筒2内に、天空の電 星野における複数の特定の風と像と一致させを めの複数の放射状目感線がを有する透明目 を を設け、以つてこれら目 整線上に、前記符 定の優 の像が位置するように範窩軸を方位調整するとと により、前記 極軸/の向きを天空の極点に合わせ を借る

3. 考來の詳細な説明

近年、天文学『マチュ』の間にも天体写真の様 影が普及して来たが、そのために用いられる一般 の赤道儀式望遠鏡は形大でかつ重いため天体観劇 に都合のよい場所へ携行することが困難なので、 構造が簡単で携行性がよく、然も天体機影に熟練 を要しないようなものが望まれている。

天体写真撮影のための赤道峡架台は次の2つの

条件を必要とする。

- (グ) 複軸が正確に天の北極方向に向くこと。
- (2) 極軸が正確に一個星日でノ回転の運動をすると。

従来の市販の移動式赤道機では、この2つの基本条件を満足することが非常に困難であり、又との2つの操作を行りため、大型の譲遠線が必要で、そのため携行性もまた非常に悪い。

本考案は、上記基本条件を満足すると共に上記従来の欠点がない天体写真撮影装骨を提供することを目的とする。

図示の実施例について説明する。

第1図で、1は管状を軸で、軸受体 8 に回転自在に支承され、その基端にウォームホイール72が一体的に固定され、後述の同期 電動機 7 から波速歯車7/を介して駆動されるウォーム 6 によつて駆動回転される。

3 は極軸内小袋選続の対物レンズで、これに対応する接限レンズをは複軸 / 内を摺動できる鏡筒 2 の一端に設けられている。 9 は上記軸受体 8 を

機や16に固締するクランプレベーで、これによつて極軸!の仰角が定められる。10は機枠16を三脚19に締付けるクランプねじで、これによつて回動できる機枠16を固定させて、極軸!の水平方向を定める。

c、dの像が目盛板よの各目盛穂より上に第2A図の状態になるように機棒16の水平回動、軸受8かよび極軸1のクランプ軸9のまわりの伏仰動かよび鏡筒2による目盛板よの回転を行う。第2A図の状態に合わせば、0点は天の北極を示す。であるいと小望遠2ー3ー4の光軸とは一致になる。(との操作は実際の試作機での試験結果によれば2~3分の短時間でできた)

たお框軸 / の固定鏡筒 2 の内面に螢光強料 23 を施すことにより、視野全体を明るくして、暗夜 にかける目盛板 5 の目盛を見易くする。或いは目 盛板 5 の問題に登光塗料を施し、目盛線 5/ を光ら せるようにしてもよい。この場合目座線 5/ はすり ガラス状の溝線にする。

次に同期電動機クの駆動電気回路は、回路ボックス2/で例えば音叉(または水晶)発振器の出力を分間増巾して付与されるが、この間波数で同期電動機フを駆動することにより、極軸/は正確にノ恒星日にノ回転する。

以上の構造により、写真機のは極朝/に対して取付金具/4、雲台/3により任意の方向に向けることが可能であり、目標天体を写真機の写野に入れることができる。この写真機の動きは天体の日間運動に完全に一致するから、盈を点像として機能

するととができる。

#### **4 図面の簡単な説明**

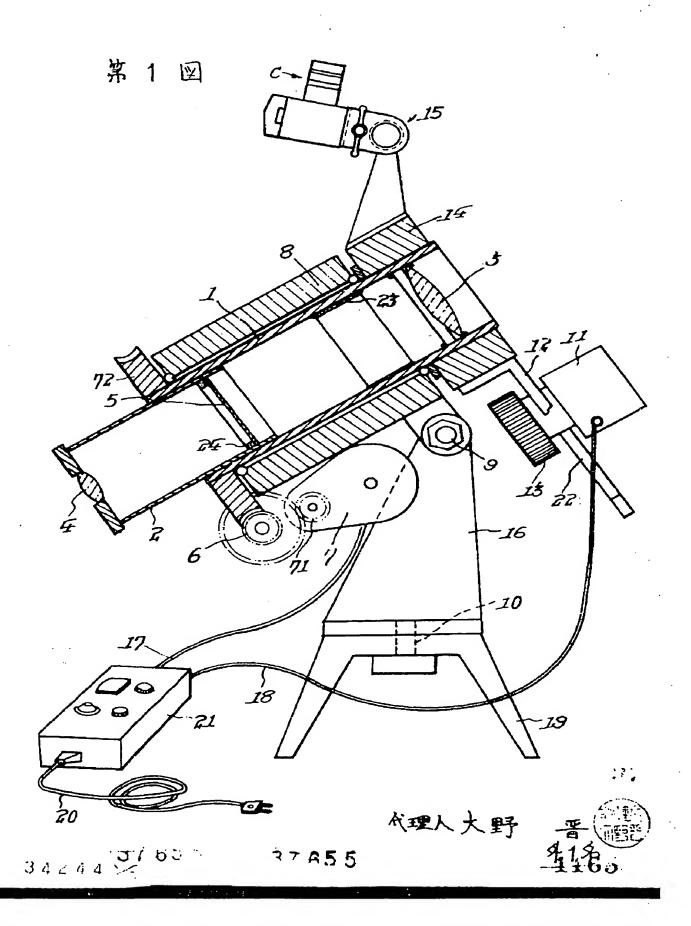
第1 図はこの考案の天体写真自動撮影装置の一部縦断面で示す全体構成図、第2 図はその運輸における小望遠鏡筒内に設けた特殊目盛板の正面図、第2 A 図はその目盛板の目盛線に特定の星の像を合わせた状態を示す正面図である。

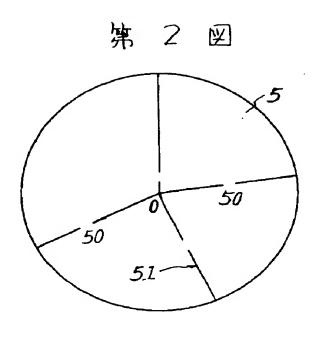
/ 二極軸、2 二鏡筒、5 二透明目遊板

代理人 大 野

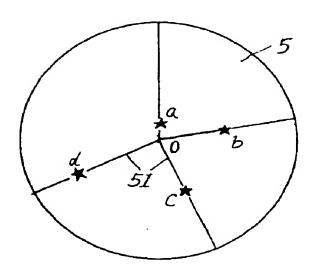
W.

ほか/名





第 2A 図



3.,

J.1.655

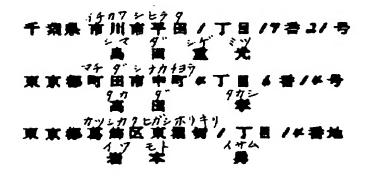
代理人大野

当外

1100

34 34 34

- 6. 而記以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人
  - (1) 考案者



(2) 美用新案登録出願人

(3) 代 理 人

郵便番号 102 東京都千代田区一番町15番地 電話番号 (262) 1444·2598 (7255) 弁理上 松 木 宣 彦

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

#### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
FADED TEXT OR DRAWING
BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
OTHER:

### IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.